



国土交通省道路局長
宮田年耕様

収道建第15号
平成19年5月8日

金沢市長 山出 保



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

平成19年4月2日付、国道企第114号で依頼のあったこのことについては、別紙のとおり回答いたします。

問い合わせ先

金沢市都市整備局土木部道路建設課

課長補佐 毛利達彦

(TEL) 076-220-2312

金沢市の今後の道路政策について

(道路特定財源見直しのための中期計画への意見)

1. 広域交通体系の整備・充実

金沢港、北陸自動車道及び北陸新幹線駅へ、能登方面からもアクセスがスムーズになるように、道路網を整備して欲しい。また、日本海沿岸地域への移動が速くなるように、高速交通体系を充実して欲しい。

2. 美しい沿道景観を保持した道路整備

これまでの道路整備は、道路の外への配慮が足りなかったことから、屋外広告物が乱立する状況となり、幹線道路では見苦しい沿道景観となっている。今後は、道路沿線を道路整備の一環として考えて対応して欲しい。

3. 電線類地中化の促進

電線類の地中化は、電線類事業者と5箇年計画等の協議の場を設け、積極的に整備を進めているが、なかなかペースが上がらないため、国からも各方面で積極的に支援して欲しい。

4. 道路緑化の推進

道路緑化は、単にドライバーだけでなく、まちに潤いをもたらすものであり、交差点緑化も含め、道路整備に併せた積極的な植栽を進めていきたい。

5. 歩行者と公共交通の優先

金沢では、環状道路の整備が進み、まちの中心部では交通量も減少していることから、今後は、マイカーを中心部に入れず、環境にやさしい公共交通の利用を促進し、歩行者を優先したまちづくりを進めたい。このためには、道路の再構築や車を抑制するための道路整備ができるようにして欲しい。

6. 新しい交通システムの導入

定時性に優れ、魅力ある公共交通として、バスシステムを含めた新しい交通システムの導入にも、道路財源を充当して欲しい。

7. 道路施設の長寿命化

道路機能の更新費用や維持管理費用の増大が懸念される中で、道路の適切な点検・補修を、計画的に実施することにより、道路施設の長寿命化を図り、長期的なライフサイクルコストを低減したい。